

3R活動のテーマ

保管期限満了の投票用紙を再生原料化し、
原料を様々な成形分野に供給することで、
社会に役立てる。

この
広く

東和ケミカル株式会社

はじめに

この度はリデュース・リユース・リサイクル推進協議会様が主催されます推進
功労者表彰に日本プラスチック有効利用組合様からのお勧めもあって応募させて
頂きましたところ、晴れある「環境大臣賞」を受賞することができました。

改めて関係各位様のご理解・ご指導の賜物と崇拝いたしております。本当にあり
がとうございました。

この受賞におごること無く、今後も3R活動の推進には全社をもって邁進し、
広く社会に貢献していくことをお誓い致します。

本日は代表取締役不在の為、代表に代わり私から重ねて厚く御礼申し上げます。

会社紹介

東和ケミカル株式会社

所在 埼玉県さいたま市岩槻区末田41-4

創業 昭和57年（1982年）

代表者 棚窪 寛志

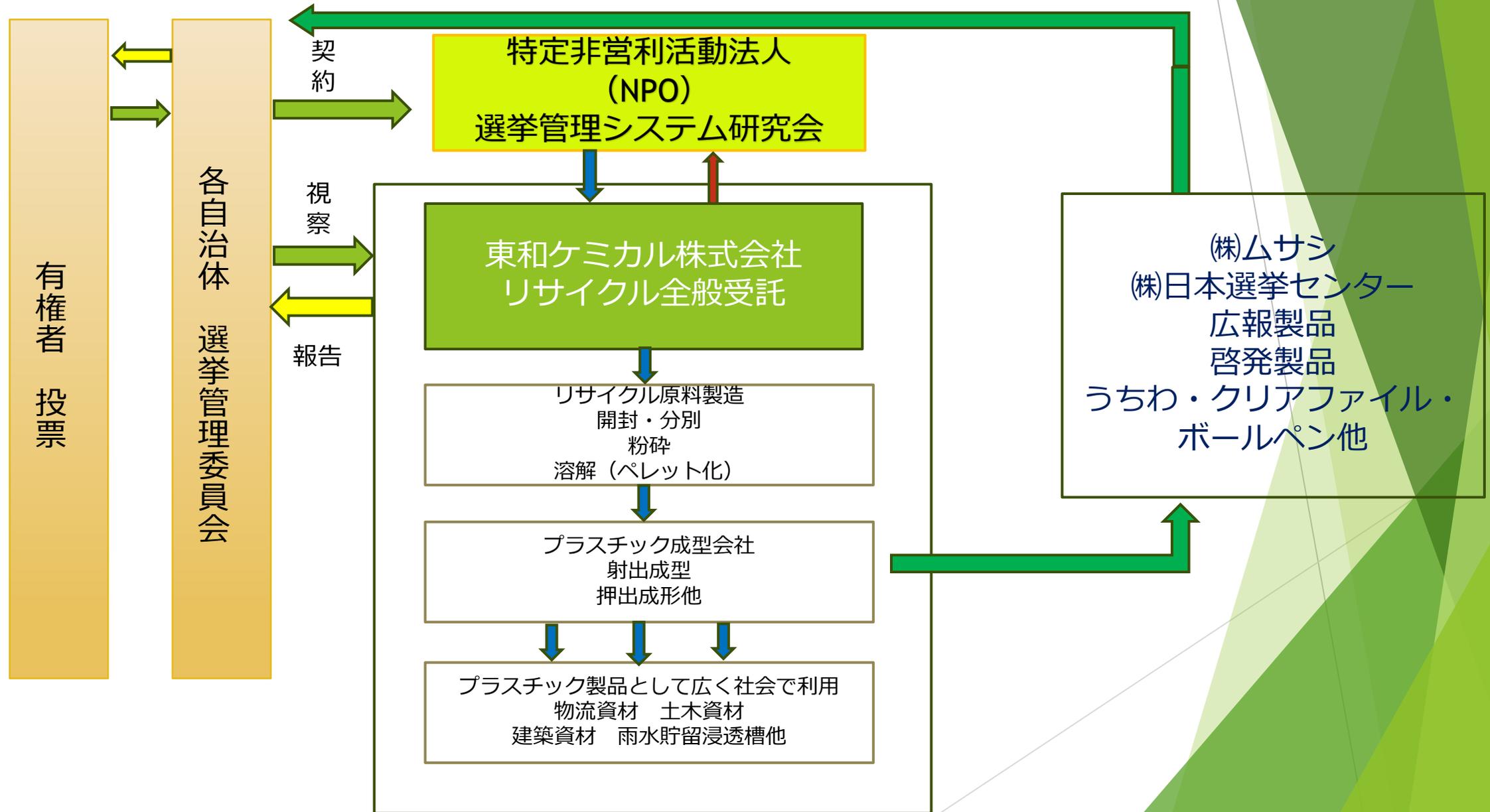
代表的な設備 押出機 12台

粉砕・攪拌・洗浄機 計16台

試験検査設備 多数保有

「一つのジャンルにこだわり続ける」これが弊社の掲げる理念であり、この理念をもって40数年合成樹脂のリサイクル事業に専念して参りました。この分野で重ねた経験・知識・ノウハウを生かし、広く国内外に貢献する企業で有りたいと努力しております。

本活動の概要



リサイクルの工程概要

STEP1

工場到着

トラックによる回収



ゆうパックによる回収



専用箱で回収

リサイクルの工程概要

STEP2

開封・分別作業



回収した投票用紙のクリップや輪ゴムなどプラスチック以外のものを、取り除きます。

リサイクルの工程概要

STEP3

粉碎



機械で細かく碎きます。

リサイクルの工程概要

STEP4

溶解



他のプラスチック素材を混合して強度を補強し、ペレット製造ラインに送り溶解します。

リサイクルの工程概要

STEP5

ペレット化



溶解された樹脂をストランドに押し出し、細断して原料（ペレット）となります。

2024/6/3

本活動の中で解決した問題点

1

特定非営利活動法人「選挙管理システム研究会」から、全国の選挙で知由されている投票用紙は保管期限が満了すると焼却処分されているが、合成樹脂製なのでリサイクル出来ないか？の研究課題を受け、完全なリサイクル工程を開発し再生樹脂として広く利用できる道筋をつけた。その中で下記の問題が生じた

2

投票用紙自体はポリプロピレンを主原料とした合成樹脂製であるが、輪ゴム・不在者投票用封筒・検印照合票・クリップ等々の非合成樹脂が混在し、これを確実に取り除く分別作業が大きな問題点とされていた。

3

この問題点を解消させるため、近隣越谷市の就労継続支援A型事業所より、障がい者の皆さんに選別作業をお願いし作業の専門化・効率化を図ることにした。

4

東京都特別区を代表とする人口密集地区は膨大な保管投票用紙を抱え、焼却処分からリサイクルへと切替が進んでいるが、過疎化が進む市町村地域でもリサイクルを選べる、いわば小口の取扱いを全国どこでも出来るようにした（日本郵政：ゆうパックセキュリティーサービスを運用）

ご清聴、有難う
御座いました。

